

# 埼玉県鴻巣市立吹上北中学校



コ ス モ ス

## 秋 桜



学校だより第 2 号

学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 -夢・学・恕- 令和元年5月7日発行

〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-437-1471

ホームページ <http://fukiagekita-j.konosu.de.jp/> E-mail : [fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp](mailto:fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp)

### 「年号が変わる大きな節目にあたって」

教頭 町田 豊

5月1日から、いよいよ「令和の時代」になりました。人は、年や年度が変わると「新年の抱負」や「新学期の抱負」など、新たな目標を立てることが多いですが、年号が変わる大きな節目で、生徒の皆さんは、何を考えたでしょうか。私は、教頭として、校長先生が考える「目指す学校像」「目指す教職員像」「目指す生徒像」の実現に向けて何ができるかを改めて考えました。その中で本校の教職員実践目標の一つである「凡事徹底—当たり前のことを当たり前にする—」ということに注目しました。

「当たり前のことをあたり前に行う」というと、生徒の皆さんは、何を考えるでしょうか。私が最初に考えたことは、「時を守る。」「場を清める。」「礼を尽くす。」ということです。私が今まで勤務した3地区（熊谷・浦和・鴻巣）の8中学校では、この言葉を一つの目標としていましたが、勉強や部活動で大きな成果を上げている学校は、この言葉のとらえ方に大きな違いがありました。具体的には、良い学校では、『時を守る』とは、授業では3分前に全員が着席してチャイムがなるのを静かに待つことです。そのことにより、無駄なく50分間学習ができます。ちりも積もれば山となる方式で、学力も徐々に向上していきます。』『場を清める。』とは、無言清掃で『常に来た時よりも美しく』を徹底することです。そのことにより、年間を通して、より美しい環境で生活することができます。』『礼』を尽くすとは、年上の人に挨拶や返事することだけではなく、同級生や後輩に向けても礼を尽くすことです。具体的には、授業では、友達の発言を黙って聞く。部活動等で指示をしてくれる部長や仲間に向けても礼を尽くす。リーダーが指示をした時には、しっかり返事をして素早く動く。つまり集団に『けじめ』がつき、正しい発言がまかり通る良い集団になります。」

この3つが徹底できている集団は、確実に違います。ある意味「一流の中学生」であります。年号が変わった大きな節目ではありますが、生徒の皆さんは、気持ちしだいで集団を大きく変えることができる「この3つのこと」を意識して学校生活を送ってください。私も吹上北中学校の教頭として、より良い学校づくりに努力していきます。



## 4月の行事・学校生活より



### 《校長室より》

今年度も早くも1カ月が過ぎようとしています。お陰さまで新入生も中学校生活にも慣れ、部活動も23日に本入部届を提出し、本格的に始まろうとしています。もちろん、「先輩」2年生も、「大先輩」3年生も学年の自覚とプライドをもって成長してくれている姿が頼もしい、この1か月でした。

そんな中、私が目にした光景で「ちょっと待てよ・・・」と疑問に感じた保護者の行動があります。

4月8日の入学式後も、12日の各学年の保護者会後でもそうであったのですが、式場から、教室から出てきた保護者の多くの方が、当たり前のように廊下でスマホを操作し始める姿を目にしました。中には、カメラ機能で写真をとる方も・・・それはまるで、街中や、駅でよく見る電車を降りた直後の人たちのように・・・

しかし、ここは学校です。その横を生徒たちが通り過ぎていきます。

もちろん本校でも、学習に直接関係ないもの（不要物）も持ち込みは禁止です。スマホ等はその代表的な不要物であり、生徒もその意味を理解し、守ってくれています。

今の時代、スマホの必要性を否定するつもりはありませんが、TPOを考えていただき、まずは大人が、大人の判断、行動をお願いしたいと思います。

# 鴻巣市立吹上北中学校 部活動に係る活動方針

## ◆活動の基本方針

- 学習活動と部活動との両立を通して、充実した中学校生活の実践を図る。
- 部活動を通して、体力向上やスポーツの振興、芸術・文化・科学への興味関心の伸長を図る。
- 自主的・自発的な部活動を通じて、生徒同士や教員等との望ましい人間関係の構築を図る。
- 計画的で効果的な活動の実践を通じて、生徒の心身の健康の増進を図る。

## ◆指導体制の整備について

- 生徒の実情に合わせた運営が行われるよう、管理職の指導の下、顧問を中心に生徒の意見を取り入れながら計画的に活動を実施する。
- 各顧問は年間、月間の練習計画を作成し、生徒及び保護者に公表すると共に、管理職に提出する。
- 部の活動方針や練習計画について、生徒及び保護者の理解が得られるよう、年度当初の部活動保護者会等を通じて十分な説明を行う。
- 管理職は適宜部活動の様子を視察し、生徒及び顧問の状況を把握し、支援すると共に必要に応じて改善点について指導、助言を行う。
- 専門的な知識技術をもつ外部指導者を積極的に活用し、生徒へ専門的な指導、サポートを行う。

## ◆具体的な活動の進め方について

- 施設や設備の点検を定期的実施し、事故の防止を徹底する。
- ケガなどの防止のため、生徒の健康状態、気候状況を常に把握し、状況に適した活動を行う。
- 職員研修、部活動顧問会を通じて、定期的研修、情報交換を行い、体罰やハラスメントの根絶を目指す。
- 生徒間のいじめやトラブル等の防止のため、顧問教諭、担任、養護教諭等の連携を図る。
- 生命を最優先することから、教職員全員が参加する心肺蘇生法やAED使用の研修を実施する。
- 生徒が自主的かつ自発的に活動できるよう、効率的で安全な練習計画、練習メニューを作成する。
- 部活動費用（部費など）の徴収、個人用具の購入等をする際は、管理職の指導の下、保護者の理解を得ると共に、会計報告を行うなど適正な処理を実施する。

## ◆適切な休養日等の設定について

- 学期中は、原則、朝練習を含め水曜日を休養日とする。但し、公式大会1か月前はこの限りではない。
- 土曜、日曜日は、原則どちらかを休養日とする。但し、公式大会1か月前はこの限りではない。
- 中間テストは5日前から、期末テストは7日前から部休とする。
- 大会やコンクール等の参加については、生徒、及び顧問、保護者の負担を考慮し精査する。